

令和2年9月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	17	議席 番号	10	氏名	野 本 貴 之 議 員	1 / 1					
発言項目				要 旨		答弁者					
1	高齢者世代の「情報格差（デジタル・ディバイド）」解消に向けた取組の提案について			<p>総務省は令和2年度から、高齢者がICTやサービスの利用を相談できるデジタル活用支援員推進事業に取り組み始めた。ウィズコロナ、アフターコロナで今後もますますICT化が進む情報社会で、世代間の格差を生まないために早期の支援が必要である。以下伺う。</p> <p>(1) 情報通信白書令和元年度版や第5次富士宮市総合計画市民アンケートでICT利活用の世代間格差は明らかであり、様々な市民サービスや行政サービスのICT化推進の課題となるが、高齢者世代の情報格差（デジタル・ディバイド）への対応について考えを伺う。</p> <p>(2) 啓発や周知する出前講座の開催や事業の取組は。</p> <p>(3) 通信事業者等と連携してデジタル活用支援員のようなサポーターを養成し、施策として寄り合い処やサロン等で活用することを提案するが、どうか。</p>		市 長 副 市 長 教 育 長 関 係 部 長					
2							ウィズコロナにおける図書館の利活用と公共施設のインターネットやWi-Fi設備の拡充について		<p>コロナ禍で公共施設の様々なイベントや行事が中止となり、地域活動が停滞している。また、文化活動の知の拠点である図書館の利活用も制限がある。3密を避けるための制限はやむを得ない状況ではあるが、ウィズコロナ時代にふさわしいやり方も考えていくべきである。以下伺う。</p> <p>(1) 図書館のコロナ拡大防止の対応と現状の課題について伺う。</p> <p>(2) 富士宮市の図書館の滞在時間は30分をめどにしているが、近隣の図書館の滞在時間状況を見ると制限をかけていないところから短時間利用の推奨、30分～120分の利用めどと対応がばらばらである。文化活動の停滞を招かないために滞在時間の緩和を考える時期だと思うが、考えを伺う。</p> <p>(3) 市内の公共施設はインターネットやWi-Fi環境が弱く、ウィズコロナで急増しているオンライン講座や会議の利用が難しい。改善を求めるが考えを伺う。</p>		市 長 副 市 長 教 育 長 関 係 部 長
3											